

Case : 232

不安定な場所で腰掛けたことで本体ごと傾き、転倒しそうになる

## 場面の説明

傾斜がある場所に歩行車と停めていすに座ろうとしたため、バランスを崩して転倒しそうになった



利用シーン	 立ち座り
	 移動
主な利用場所	 廊下
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

## 解説

傾斜のある場所ではいかにブレーキを確実に操作しても転倒の危険が大きくなります。安全に利用するためには、その場に応じて危険を認識し、適切な判断ができる認知機能も重要です。

## 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：路面状況をよく確認せずに歩行車を停めた

人：ブレーキをかけ忘れていた

環境：傾斜のある場所だった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 232

不安定な場所で腰掛けたことで本体ごと傾き、転倒しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

### 場面の説明

傾斜がある場所に歩行車と停めていすに座ろうとしたため、バランスを崩して転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ